

市有地の処分について(旧北小倉小学校利活用事業)

1 概要

平成31年3月に閉校した旧北小倉小学校跡地を学校用地として売払うため、市有地処分の議案を提出するもの。

2 売却対象地（建物付き土地）の概要

- (1) 土地
- ・所在地：小倉北区中井口4-1（地番：中井口4番6）
 - ・敷地面積：14,861.49㎡

- (2) 主な建物
- ・校舎
S55竣工、延床面積4,359㎡、RC造4階建、耐震性有
 - ・体育館
S55竣工、延床面積781㎡、RC造、耐震性有

3 売却方法

公募型プロポーザル（総合評価方式）

※応募者から提出される「提案内容」と「買受希望価格」の双方を評価して事業者を選定

4 売却額

7億円

5 事業予定者及び事業計画

- (1) 事業者名：学校法人博多学園

- (2) 事業計画（提案内容） ※提案は「別紙」参照

- 実施事業：私立小中一貫校開校(校舎・体育館は既存施設を改修して活用)
- 事業開始予定：令和6年4月小学校開校、令和11年4月中学校開校

6 今後の予定

- R 4. 4 所有権移転登記 ※民間による事業化スケジュールは「別紙」参照

事業予定者の事業計画(概要)

未来を拓く新しい志教育を掲げた小中一貫校開校計画

【コンセプト】

未来に向けて変わっていく北九州市に小中一貫校を設立し、長期継続的な教育活動によって新しい時代に合った新しい人財を輩出する。

全国から注目される学校づくりを通して、北九州市のシティ・ブランド向上と歩調を合わせた『住みたいまちづくり』に寄与していく。

【整備イメージ】



〈施設計画の全体像〉

環境負荷の高いスクラップ&ビルドは行わず、可能な限り現施設の持続的な利用を図る。

- (1) 校舎・体育館のリニューアル改修、校庭・外構の整備等
- (2) 現校舎をフル活用した施設一体型の斬新かつ機能的な小中一貫校舎作り
- (3) 校庭緑地の保全と緑化のさらなる推進
- (4) 食育用校内菜園と自然観察用ビオトープの設置
- (5) 放課後児童クラブを寮施設にリニューアル改修（暫定利用）
- (6) プール等の解体、プール跡地に寮施設（鉄骨3階建・104人収容規模）の建設
- (7) プール跡地一角にスクールバス&乗用車専用駐車場の確保

【事業の特徴】

- 施設の地域開放や行事開催など、広範な内容で地域と連携したまちづくりに貢献
- 学校が地域へ出向いていくことによりコミュニティを形成
- 地域避難所としての活用（蓄電池、EVバスなどによる電源確保、備蓄倉庫設置）
- 警察、新しい学校、地域による学校の安全組織立ち上げ
- 工事資材や備品・食材等の調達においては市内業者へ優先発注
- 改修工事等の直接的な経済効果に加えて、継続的な雇用を創出
- 新しい教育メソッドを掲げた新しい学校による「教育日本一」への貢献

【事業規模】

1. 児童・生徒数

- 70名／学年（1学年2学級で1学級35名）
- 70名×9学年（小学校6年+中学校3年）＝630名 ※全学年完成年度時

2. 概算事業費

- （1）短期：約13億円（校舎全面改修、プール解体、学校寮の新築など）
- （2）長期（約30年後想定）：約50億円（校舎・体育館建替、隣地への寮新築など）

【事業スケジュール(予定)】

- 令和 4年7月 小学校設置の認可申請
- 令和 4年8月 校舎等改修工事着手
- 令和 6年2月 小学校設置の認可
- 令和 6年4月 小学校開校
- 令和 8年度 学校寮建設工事着手・竣工
- 令和11年4月 中学校開校（開校前に認可申請→認可）